

- **団体名** 特定非営利活動法人 Learning for All（ラーニングフォーオール）
- **代表理事** 李 炯植（り ひょんしぎ）
- **活動開始** 2010年6月（当団体は2014年7月23日設立）
- **従業員数** 職員45名、インターン25名、業務委託17名（※2022年4月1日時点）



3つのアプローチ

今、目の前にいる子どもにどこまでも寄り添い、支え抜くこと。
一つの団体ではできない大きなうねりを生み出し、
社会の構造そのものを変えていくこと。

その両方を実現しなければ本当の意味で問題を解決することはできません。

私たちは、現場のリアルな知見を社会に広げていく
3つのアプローチで、子どもたちの未来をつくっています。

1

一人に寄り添う

居場所づくり／学習支援
食事支援／保護者支援 コミュニティ連携

2

仕組みを広げる

ノウハウ展開／ノウハウ共有

3

社会を動かす

普及啓発／人材育成
政策提言

「地域協働型子ども包括支援」の実践

地域のあらゆる立場の大人たちのネットワークをつくり、
支援の必要な子どもを見のがさず、早期につながる。
成長段階に合わせ、必要なサポートを6～18歳まで切れ目なく行う。
そんな「地域協働型子ども包括支援」を展開しています。



LFAの提供する支援メニュー

6～18歳の子どもの状況に合わせ、幅広い支援内容を柔軟に展開しております。



居場所づくり



学習支援



食事支援



訪問支援



保護者支援

「地域協働型子ども包括支援」の全国展開

現在の日本では、子ども支援に関わる人・団体の努力にも関わらず、

支援の「量」「質」ともにまだ足りていないのが現実です。

LFAでは、これまで培ってきた実践的な支援のノウハウを、全国の子ども支援団体や企業に提供。

日本中の子ども支援者がつながるネットワークづくりにも取り組むことで、

「地域協働型子ども包括支援」の全国展開を推進しています。

e-learning/教材等の提供



子ども支援を行うために必要な研修をオンラインで受けられるサービスや、市販の教材では対応が難しいお子さん向けのオリジナル教材を提供しています。



「こども支援ナビ」の運営



困難を抱える子どもに対する学習支援・居場所づくり・子ども食堂などを運営する方向けの情報発信/相互ナレッジシェアサイトを運営しています。

子どもたちを取り巻く社会構造そのものを変えるために

目の前の子どもにどこまでも寄り添う。その重要さは疑う余地がない一方で、問題を真に解決するためには世論の形成や、社会の仕組みを変えていく必要があります。

LFAは現場での支援活動や、全国の子ども支援団体とのネットワークづくりを通して、**課題の普及啓発・人材育成・政策提言**に取り組んでいます。

課題の普及啓発



- ・メディアでの発信
- ・企業での研修
- ・活動説明会

人材育成



- ・ボランティアとして関わった大学生の育成

政策提言



- ・国や自治体への政策提言
- ・調査報告書の公開